

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドサポートうらそえ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の朝礼、昼礼でのMTGで対話ができ、円滑に業務がまわるような話し合いをしている。	意見が言えるような雰囲気作り、常に児童に関しての話し合う時間を設けている。	スタッフ間での意見交換ができるように子どもたちの為に仲間の為に寄り添いながら支援内容の共有理解を行って行く。
2	なはとうらそえと家族を交えた合同イベントを行い、普段見られないお子様の様子や成長を感じる機会を計画している。	保護者同士の交流に繋がられるように年に2回程の合同でのイベントを計画している。	イベントの内容を色々工夫をしながら、内容を考えながら飽きさせない、参加したいと思えるような企画を計画していく。
3	トランポリンやボルダリングなど運動の環境を設備している	児童が自ら遊びを選択し、楽しく身体を動かせるようにする。	感覚統合や発達支援に関する研修の機会を増やしていく。勉強会の時間を設けてスキルアップをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方への非常時などへの対応(緊急時マニュアル・感染症マニュアル等)に対する周知・発信不足 ・避難訓練など実地している事への発信不足	事業所で取り組んでいる情報などSNSや声掛けを交えての案内不足	SNSを通して事業所での取り組みを発信しているため、アップした時には保護者の方に情報を提供しながら確認をもらうようにしていく。
2	・児童同士の地域との交流や連携の提供不足	・「地域支援」「地域連携」に対する情報不足・取り組み不足	・地域の活動等の情報収集を行う。
3	・保護者面談の回数が少ない。	・年間計画の中に入れていたが計画がスムーズにできずずれてしまったり一回だけの開催になってしまった。	・保護者面談に日程を年間計画の中に立案して早めに取り組み、保護者に案内かけていくようにする。